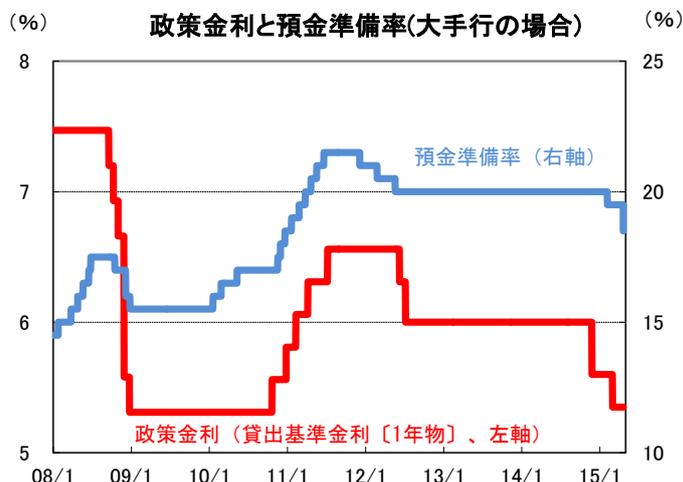


今日のトピック

中国は預金準備率を1%引き下げ、景気テコ入れへ

ポイント1 1%は通例の2倍の引き下げ幅 3月の政策金利引き下げに続く緩和

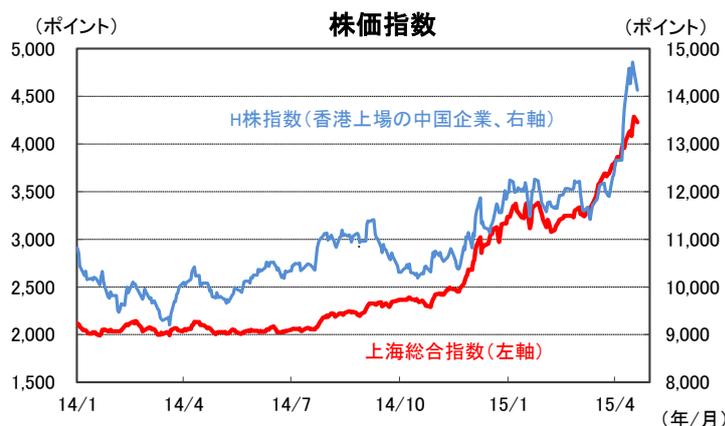
- 中国人民銀行(中央銀行、以下、人民銀)は19日、今年2回目となる預金準備率の引き下げを決定しました。20日から大手行向けを1.0%引き下げ18.5%としました。1.0%の引き下げは、通例の0.5%の変更の2回分に相当します。
- 預金準備率は、銀行が中央銀行に預ける資金の比率で、その引き下げは銀行が貸し出しに回せる資金に余裕が出る効果があります。今回の引き下げにより、1.3兆人民元(約25兆円)程度の資金が市場に供給されると見られています。



(注)データは2008年1月1日～2015年4月20日。(年/月)
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 景気下振れに対応 1-3月期のGDPは7.0%と低調

- 今回の措置の狙いとして二つのことが考えられます。ひとつは、景気下振れへの対応です。1-3月期の実質GDPは前年同期比+7.0%と前四半期の同+7.3%から減速しました。二つめは、資金需要の高まりが想定されていたことです。4-6月期に地方政府債の借り換えが集中し、それに対処する必要性が高まっていました。
- 市場では、追加の金融緩和が行われるとの観測が強まっていたため、引き下げ幅を除いて、大方の市場の見方に沿う内容でした。



(注)データは2014年1月1日～2015年4月20日(最終日は日本時間15:00時点)。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 企業の資金調達コスト軽減のため、さらに金融緩和が期待される

- 企業の資金調達環境は、今回の措置により改善に向かうと見られます。しかし、足元の景気の鈍化を和らげるため、企業の資金調達コストをさらに軽減する必要があると見られます。
- 中国の株価指数(上海総合指数、H株指数)は、4月20日(日本時間の15:00時点)で、それぞれ、

年初来約31%、約18%上昇しています。足元の上昇ペースが速いことへの警戒感は残りますが、構造改革の進展による中期的な企業の競争力向上に加えて、追加金融緩和期待が当面は株式市場を支えると見られます。

ここもチェック! 2015年04月15日 中国株式市場の見通し 産業構造変化への期待から、株価上昇
2015年03月20日 最近の指標から見る中国経済(2015年3月) 新常態の実現へ向けて高まる政策期待

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。